

〈楷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生書

淡月故移疎影去
斷雲誰杵暮山鐘

〈行書〉

清原大龍先生書

淡月故移疎影去
斷雲誰杵暮山鐘

□ 淡月故に疎影を移して去り、斷雲誰杵く、暮山の鐘。

次号予告「壽酒春儉青竹葉 仙源寒讓碧桃花」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書

山佐との可勢春さ万しき遊ふくれ二故の八み多れてもの楚可難志き
山里的風すさましきゆふくれに木の葉みたれてものぞ悲しき

□ 山佐との可勢春さ万しき遊ふくれ二故の八み多れてもの楚可難志き

△新古今和歌集 五六四 藤原秀能▽

山里的風すさましきゆふくれに木の葉みたれてものぞ悲しき

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

井之上南岳先生臨

御香雨裊及左衛士
督尊書状並謹領訖

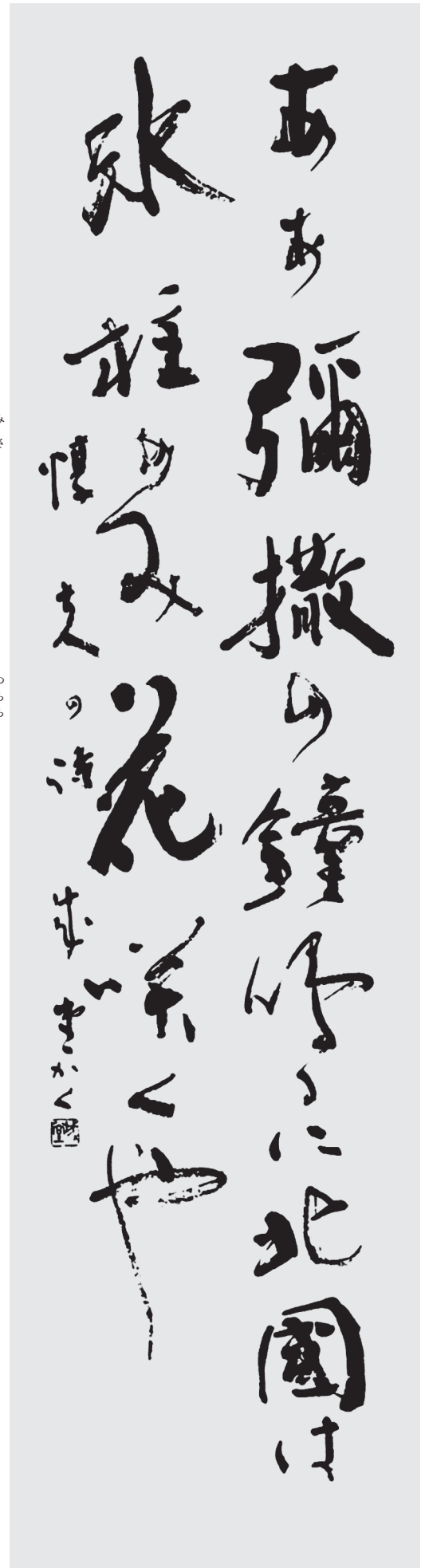
井之上南岳先生臨

▽ 風信帖

御香雨裊及左衛士督尊書状並謹領訖

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□「北方」 大木惇夫の詩
ああ 彌撒の鐘鳴るに 北国は氷柱のみ 花咲くや

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



山本飛雲先生書

□ 夏目漱石の句
なつめぞうせき
しんえん

神苑に 鶴放ちけり 梅の花

明治三十二年の元日の朝、五高（現・熊本大学）の同僚の教師とともに熊本を發ち、耶馬溪の旅に出た。その途中宇佐神宮を訪れたときの句。

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横 $\frac{1}{2}$ に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ ）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 冬^{とう}暖^{だん}春^{はる}よりも勝^{まさ}る (陳深)
今年の冬は温暖で春よりも暖かである。

冬暖勝
如春

成美
書



次号予告「慶賀以勸善」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 冬^{とう}暖^{だん}春^{はる}よりも勝^{まさ}る (陳深)
今年の冬は温暖で春よりも暖かである。



次号予告「慶賀以勸善」

吉田成美先生書

半 紙 随 意 参 考 手 本 — 12月28日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。

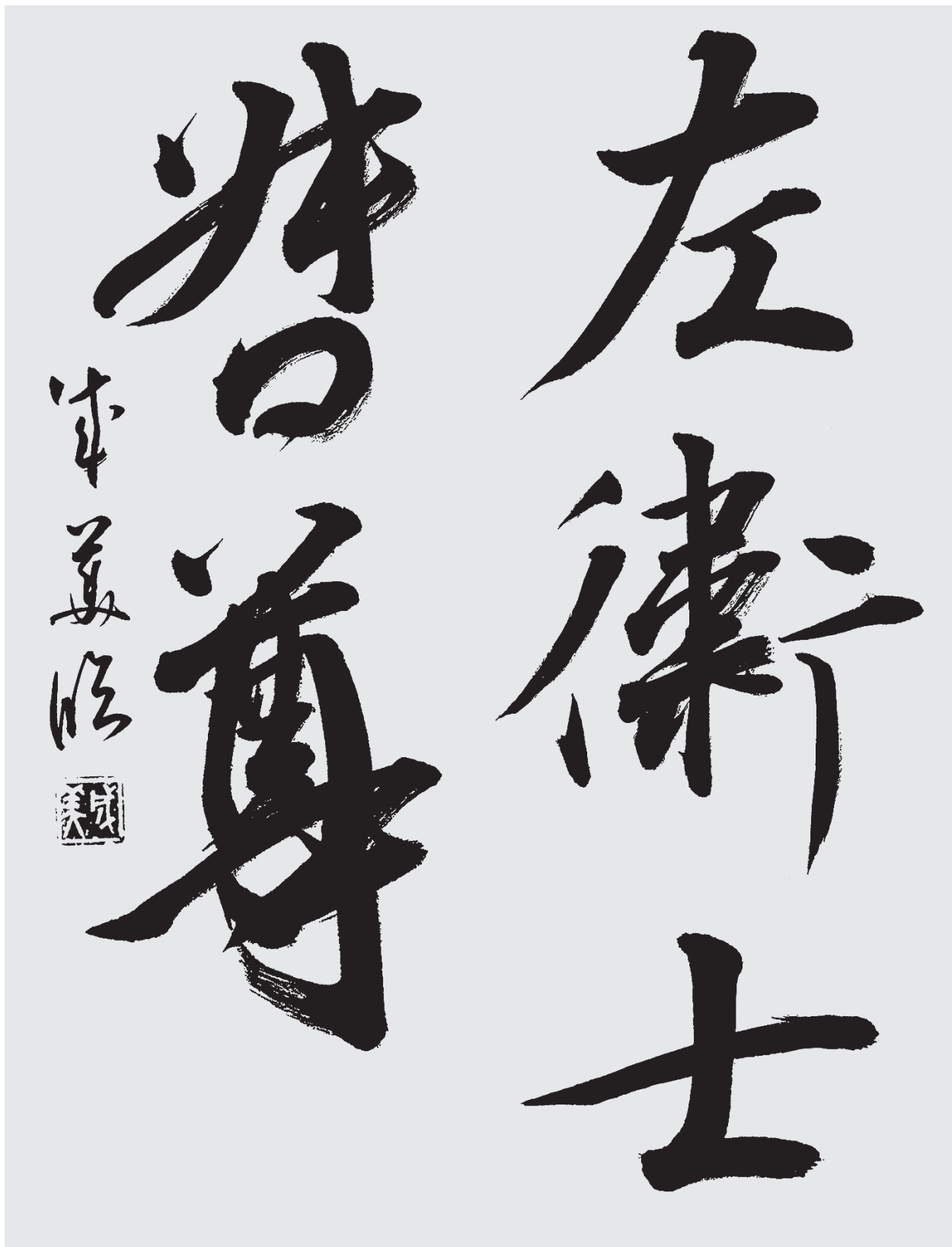
□ 素誠 (素誠)
まこと。誠信。



小 島 秋 聲 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）

▽ 風信帖



△ 臨書▽

線の強弱や文字の大小、筆脈にも気を配りながら書きましょう。

「左衛門督尊」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

やまざとの

可勢^{かせ}す佐万^{さま}しき

ゆふくれ^に耳

この者^はみ多^たれて

ものそ可^かなしき

やまざとの
可勢す佐万しき
ゆふくれに
この者み多れて
ものそ可なしき



山里の
風すさましき
ゆふくれに
木の葉みたれて
ものそ悲しき

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△手紙文▽

師走を迎えご両親様にはお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。こちらも皆元気にしております。皆様と家族一同、新年を迎えらるべく、お祈りいたします。三十日夜福岡着の予定です。京子

師走を迎えご両親様にはお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。こちらも皆元気にしております。皆様と家族一同、新年を迎えらるべく、お祈りいたします。三十日夜 福岡着の予定です。京子

伊良子 喜代先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

カレンダーをめくり、残り一枚となった、
に、時の過ぎる早さを、痛感しています。
先日は、蜜入りのとても美味しりんごを
ありがとうございました。おかげさまで、毎年
風邪知らずで冬を乗り切っています。
今年は、令和になって初めての年越しを
過ごすですね。叔母さん、元気なお孫さん
たちに囲まれて、笑顔いっぱいの佳い新年を
お迎えください。

有美子

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵 頭 白 慧 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	の気持ちと仲間力士に話したそう。	心という字を書いてみる。ありがとう	の大関名寄岩だと教わった。手刀で	切る。その所作を伝めたのは昭和初期	相撲の勝負のあとで懸賞金に手刀を
段 級					
氏 名					

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル

(形や注意する点に氣をつけてゆへに書いふ。)

[illegible]

一般の方も是非チャレングしてくださう。

坂元紫香先生書

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

光る氷山

小学4年

立冬の日

小学3年

アルプス

小学2年

よる

ようねん・小学1年

飛躍の年

中学2・3年

将来の夢

中学1年

風花のまう街

小学6年

強い信念

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼Ⅱ四尺画仙紙半折¼：68cm×17・5cm▽

□ カタカナは、直線的に書きましょう。^{ちよくせんてき}ハライや^くトメは^はていねいに。



小学 二年

次号予告「かるた」

□「よ」「も」「る」も、^{むすび}は筆の軸^{はし}だけをまわさないように気をつけて書きましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「ねこ」

坂 元 紫 香 先 生 書

□ ^{へん}偏と^{つり}旁、点画の接し方に気をつけ、広がりや強さの中にも明るさのある作品にしよう。



小学 四年

次号予告「出版」

□「立」は横線の方に注意し、「冬」は左右の払いを伸びやかに書こう。



小学 三年

次号予告「正月」

吉 田 成 美 先 生 書

小学 五年

次号予告「希望」

信念

□「信」は横画の長さの違いに気をつけ、「念」は払いを伸びやかに、「心」はや、小さめに。

小学 六年

次号予告「新たな決意」

風花の
まう街

□漢字は文字の中心に気をつけ、平仮名はや、小さめに、バランス良く書きましょう。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「栄光」(行書)

の将来
夢

□点画の流れを意識して、各字の字形やハライ・ハネにも気をつけて伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「花鳥風月」(行書)

飛躍

□筆順・点画の省略や偏と旁のバランスに注意し、自然な流れで書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

あなた
一ナ大
①しつかりつける

段 級										
氏 名										
が										
み										
て										
い										
を										
し										
か										

小学一年

つや
つかか
①とめる

段 級										
氏 名										
い										
お										
と										
か										
し										
は										
け										
く										
い										
い										
い										

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてよい。但、審査は従来通りです。)

坂元紫香先生書

段 級			
氏 名			
風	が	い	て
毛	入	の	花
			が
			ゆ
			れ
み			
ん			
な			
で			
歌			
を			
歌			
う			
て			
い			
る			
よ			
う			
で			
す			
。			

「[◎]右から左へはらう」
風 風 風
「[◎]上にはねる」
花 花 花
「[◎]はねないで下の
よこせんにのける」
歌 歌 歌
（うた）

段 級			
氏 名			
おし、おは、す、か、り			
元氣にな、おは、あ、た			
れ、い、く、な、か、た、く、幸			
せに長生きしました。			

「[◎]はねる」
気 気 気
「[◎]上のかくよりみじかい」
幸 幸 幸
「[◎]はねる」
長 長 長
（しあわ）

坂 元 紫 香 先 生 書

小学六年

学校や家庭で、リサイクルや省	エネルギーに取り組んだことが	あるでしょう。しかし、今、それだ	けては追いつかなければ、地球の	資源は少なくなってしまう。
段級 氏名				

戸川 序庭 〇はねる 〇問をあげる
リハ シ 省 省 〇戸 戸 自 自 追

中学

幕末から明治時代にかけて、西洋	から、さまざまな書物が日本に入	てきた。当時の学者たちは、西洋の	学問や文化を取り入れようと、それ	らの書物の翻訳に取り組んだ。
段級 氏名				

戸 首 直 莫 幕 〇はねる

リ 采 番 葡 翻 〇ほん

小 畠 秋 聲 先 生 書